

この美しく、 はかないいのち

東本願寺ロサンゼルス別院開教使

長峯 眞如

春は本当に美しい季節です。野球のシーズンも始まり、この時期の気候はとても過ごしやすく、長い夏が来る前のひとときを私はいつも楽しみにしています。また、お釈迦さまと親鸞聖人はいずれも四月にお生まれになった伝えられており、仏教においても意味深い時期です。私たちはそのご誕生をお祝いして、花まつりや降誕会をお勤めします。

私自身の経験を通して感じているのは、むしろその逆で、仏教は一人ひとりのいのちの尊さや美しさを教えてくれているということです。それでもなお、人生の中で直面する出来事を素直に受け止めることは、決して簡単なことではありません。最近、親しい友人のご兄弟が二十九歳という若さで事故により亡くなりました。あまりにも突然の出来事で、ご家族や周囲の方々はいまだにその現実を受け止めきれず、深い悲しみの中におられます。私もその知らせを受けたとき、何と言葉をかけてよいのか

か分かりませんでした。まず思い浮かんだのは、「さよなら」を伝えることができなかったであろうことのやるせなさでした。きつと彼は、ただいつものように家を出られ、ご家族もまさかそれが最後になるとは想像もしていなかったことと思います。同時に、いつ自分がその立場になってもおかしくなるといいうことも強く感じました。

お葬儀をお勤めするたびに、蓮如上人の『白骨の御文』のことが思い起こされ、そのお言葉に慰めを感じます。この御文は、お葬儀で拝聴されるものですが、亡くなられて間もないご遺族の方々が、その意味を十分に受け止めることは、なかなか難しいかもしれせん。

とができないという事実が目覚めることにあります。頭では誰もが分かっていることかもしれませんが、日常生活の中でその自覚を常に持ち続けることは容易ではありません。

お釈迦さまのご入滅、涅槃の場面を学んだとき、その最期のお言葉が強く心に残りました。『大般涅槃經』には、次のように記されています。

「アーナンダよ、ヴァイシャーリーは美しい、チャパーラの霊園は楽しい、ガウタマの霊園は美しい。サーラ樹の霊園は美しい・・・世界は美しく、人間の生命は甘美なものだ。」

お釈迦さまの教えは、ときに難しく感じられることもあり、悟りを開かれた直後には、その内容の深さゆえに、人々に説くことをためらわれたとも伝えられています。しかし、このお言葉が

五月

三日

五月祥月法要

四日

理事会

十日

母の日家族礼拝・
母の日朝食

十七日

誕生会・
初参り法要

二十五日

日曜礼拝

三十一日

日曜礼拝

二〇二五年 お盆祭り

開催日 二〇二六年七月二十五日（土）
二十六日（日）

場所 東本願寺ロサンゼルス別院



「ご入滅前の最期のメッセージであると考えるところ、すべては無常という現実と、その中で人として生まれたいのちの尊さへと帰っていくように感じられます。」

この教えは、友人のご兄弟のことがあつて以来、特に強く心に響いています。私たちの生活は、普段は当たり前のように続いていくと感じられますが、ある日突然、その当たり前が当たり前でなくなることがあります。彼もまた、いつものように一日を過ごし、まさかそれが家族や友人と会う最後になるとは思っていなかったことでしょう。そして、誰も予想しなかった形で、すべてが変わってしまった。

改めてお釈迦さまの「世界は美しく、人間の生命は甘美なものだ。」というお言葉に立ち返るとき、それは決して誰かが亡くなられたという事実や、それに伴う悲しみ

打ち消すものではありません。むしろ、私たちが人として生まれ、この同じ世界を共に生きているということ自体が、かけがえのない奇跡であり、決して当たり前のことではないのだと気づかされます。

このような出来事が身近に起こると、いのちがどれほど不確かであるかを強く実感させられます。同時に、人と人とのつながりや、互いを思う心にも気づかされます。友人のお兄さんの弔辞には、「家族やコミュニティののために多くを尽くされた方」として紹介されていました。その深い悲しみの中には、それだけ大きな愛情とつながりがあつたことが表れているのだと思います。

「ご両親の悲しみは計り知れませんが、いつの日か、その中にやさしく心が安らぐひとときが訪れ、そして再び、いのちの美しさを感じられる瞬間があることを、ただ願ってやみません。」

最近の行事



別院ゴルフ大会

二〇二六年三月二日（月）、第二十四回東本願寺ゴルフトーナメントがキャンドルウッド・カントリークラブで開催され、早朝から多くのボランティアが集まりました。約百三十五名のゴルフアーの到着に備え、トラックからの荷降ろし作業が行われる中、コーヒーマグが淹れられ、受付には参加記念品、ドーナツ、スパムむすび、フルーツがずらりと並びました。外では明るく元気なボランティアたちがゴルフアーの受付を担当しました。

例年より暖かい日となりましたが、コースでは終日気持ちよく過ごすこ

とができました。コース内すべてのホールにはティーマグが掲げられ、ティーマグポンサーによるご協賛のおかげで、青少年プログラムやお寺の維持費用のための資金が集まりました。ご協賛いただいた皆さまにこの場をお借りして御礼申し上げます。

全ホールを回った後、ゴルフアーたちは温かいBBQランチを楽しみにバンケットルームへ向かいました。会場にはラッフル用のご門徒さまや様々な企業からのご寄付や豪華な景品で溢れていました。ゴルフアーたちが食事と談笑を楽しむ中、司会の伊東信氏がトーナメントの勝者と抽選会の当選者を発表しました。

ニアピン賞は、ラルフ・三沢さん（三番ホール）とウェイン・長尾さん（十番ホール）、直線賞はジュン・大隈さん（十一番ホール）でした。

た。ローグロス優勝はギャレット・クウォンさん。バーディー賞は、ダニー・リーさん（五番ホール）、キャロル・野地さん（六番ホール）、ロイ・竹村さん（八番ホール）、ダリン・牧さん（十二番ホール）、マイケル・イーさん（十三番ホール）、スコット・ウェブさん（十四番ホール）に贈られました。レディーズ優勝はノリコ・ハラミヨさんでした。総合のスコアは、第三位ケヴィン・山口さん、第二位コービー・林さん、そして第一位ツヨシ・倉本さんでした。おめでとうございました！

東本願寺ゴルフトーナメントは、ボランティアの皆さんのご協力、そしてティーマグポンサーやドナーの皆さんの支援のおかげで、毎年着実に発展を遂げています。皆様のご協力、ご参加にこの場をお借りして衷心より御

礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



春季彼岸会・セミナー

晴天に恵まれた三月十五日(日)、東本願寺ロサンゼルス別院にて春季彼岸法要が厳修されました。ご講師として、羽田信生先生をお迎えしました。

今回も羽田先生より、心に残るご法話をいただきました。お話の中では私たちに、この世界を恐れや歪みのない、澄んだ開かれたまなざしで見つめながら日々生活することの大切さを教えてくださいました。法要後には、当番の皆様による美味しいカレーや、新鮮ないちご、さまざまなデザートを囲んで和やかな昼食のひとときを過ごしました。続いて、羽田先生による全六回の連続講座「『教行信証』―親鸞聖人の主著」が始まりました。

第一回では、「『教行信証』の土台としての『大無量寿経』」および

ナンシー・栗原・ジョンソン

「法蔵菩薩の物語」についてお話しいただきました。

また、講義の中では仏教の基本的な概念についても触れられました。残りの五回の講義は、三月十八日より毎週水曜日にZoomにて開催されます。羽田先生の心のこもったご講義に、心より感謝申し上げます。



ルンビニ幼児園 同窓会ダンス

二〇二六年四月四日（土）、ルンビニ幼児園は創立五十周年を記念し、「ダンス・ベネフィット&同窓会パーティー」を西本願寺会館にて開催いたしました。音楽は「Kokoro」バンドによって提供され、会場は終始華やかな雰囲気になりました。

当日は、マクスウェル・チキンライスのショーン・オシタ氏による美味しいお食事が振る舞われました。メニューにはチャーシュー、唐揚げ、白ご飯、豆腐、チャプチェ、そしてトランスのラスカルズによる中華風チキンサラダが並びました。フェニックスベーカーリーのシートケーキも提供され、ダンスの時間とともに楽しいひとときが始まりました。また、バーム終夜オーブンし、お好みのドリンクをお楽し

みいただきました。

レスリー・二町先生よりご挨拶があり、皆様のご支援への感謝が述べられるとともに、前園長のジニー・河和田夫人、そして現園長の河和田賢淳輪番が紹介されました。

本イベントの開催にあたり、ご尽力いただいたキャロル・谷田さん、ならびに多くのご寄付・ご支援を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。また、ルンビニ幼児園に関わる多くのボランティア、職員、保護者、そして卒園生や関係者の皆様のご協力なしには、このような素晴らしい会を実現することはできませんでした。

現在ルンビニ幼児園では、二歳から五歳までのお子様を対象に、プリスクールおよび就学準備クラスの入園を受け付けております。トイレの練習のサポートも行っておりますので、詳細やお申し込みにつきましては、

お気軽にレスリー先生
(213-680-2976) まで
お問い合わせください。



同朋のお悔み

岸優ダン様

一月十八日 御命終
行年百六歳

モラ・マニユエル様

二月十日 御命終
行年八十二歳

菅原薫様

二月十四日 御命終
行年七十八歳

佐藤幸枝様

二月十九日 御命終
行年七十七歳

小財グレッグ応一様

三月二十五日 御命終
行年六十二歳

田中庸皓様

四月五日 御命終
行年九十歳

謹んで哀悼の意を表します。



Mother's Day

お母さん
いつもありがとう

行事のお知らせ

母の日家族礼拝

五月十日（日）午前十時より、母の日家族礼拝をお勤め致します。ゲストスピーカーより母の日になんだお話をいただきます。また、礼拝前にはソーシャルホールにて午前八時三〇分から九時四十五分まで母の日をお祝いする朝食も振る舞われます。どうぞご家族そろってご参拝ください。

親鸞聖人誕生会 初参り法要

五月十七日（日）午前十時より親鸞聖人誕生会法要をお勤めいたします。誕生会は一七三年に京都近郊でお生まれになった親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要で、特別な法話もございます。また、同日誕生会に加え、新しいお子様のご誕生と初めてのお参りをお祝いするための初参り法要も勤まります。初参りは伝統的に新生児を対象におこなわれますが、当別院では六歳までのすべてのお子様を対象と致します。お子様の参加をご希望の方は、お子様の氏名と年齢を明記の上、寺務所までお問い合わせください。二〇二六年の会費をお支払いいただいたメンバーのお子様は五十ドル、メンバーではない方のお子様は七十五ドルの手数料がかかります。どうぞお問い合わせの

上、ご参拝下さい。



父の日・卒業 家族礼拝

六月十四日（日）午前十時より父の日・卒業家族礼拝をお勤め致します。本年は父の日の週末より一週早くお勤めされます。ゲストスピーカーより父の日になんだお話をいただきます。お父様の皆様、ご卒業の皆様、そしてご家族をはじめ、有縁の皆様は是非ご参拝下さいますよう、ご案内申し上げます。

Father's Day

お父さん
いつもありがとう



→ 仏教連合会
花まつりの様子

